

現場説明書（技術的事項）

工事名称 福山市立大門中学校技術棟校舎外壁改修工事

1 現場の状況

工事場所は、福山市城興ヶ丘 8 番 1 号に位置し、福山市道大門城興ヶ丘線から進入可能です。

工事期間中、2025 年 7 月 19 日（土）から 8 月 24 日（日）は夏休みです。なお、土曜日、日曜日、祝日を含めて、生徒が登校しない日も校舎、屋内運動場、グラウンド等は使用することがあります。

対象建物は、冷暖房設備が無く、室内使用中窓を開ける場合があります。

2 別途工事

ありません

3 留意事項

- (1) 対象建物は、冷暖房設備が無く、室内使用中窓を開ける場合があるため、粉塵、臭気の発生する作業に当たっては、施設管理者と綿密な日程調整を行ってください。
- (2) 工事に当たっては、交通渋滞、騒音、粉塵、振動、汚染排水等により、近隣住民に迷惑のかからないよう十分配慮してください。
- (3) 工事期間中も学校施設を使用しているため、工事関係者はもとより、職員、生徒及び第三者への安全確保に必要な対策を講じてください。
- (4) 工事車両等の進入・退出・停車等に当たっては十分な注意を払い、通行者等の安全を第一に図ってください。
- (5) 資材の搬入、搬出時にはシート等でカバーするなど、土砂・木片等が飛散しないよう注意するとともに、タイヤ等に付着した土砂によって道路汚損等のないように注意してください。
- (6) 道路等を汚損した場合は、速やかに清掃等の復旧を行い、工事期間中の進入、退出路に係る維持管理（舗装・構造物等の保護養生、補修等）は、受注者で行ってください。
- (7) 工事場所外においても、駐車違反、速度制限、積載制限等交通法規を遵守し、事故防止に万全を期してください。
- (8) 工事に係る留意事項は、協力業者、資材納入業者等にも指導を徹底してください。
- (9) 工事現場内の資機材の保管等については、受注者において十分な管理を行い、各工種・工程における廃材・ごみ等についても、受注者の責任において遅滞なく処理してください。
工事排水についても管理を徹底し、周辺排水路等に土砂等を流した場合は、速やかに清掃を行ってください。
- (10) 工事範囲内において工事用進入路確保のために行う鉄板敷き等の必要な措置は、受注者で行ってください。
また、仮囲い等については、設計図書等を基に確実にを行い、工事途上で屋外工事等のために仮囲い等の移設又は一時撤去復旧が必要となった場合は、関連工事と十分な調整を行い、必要に応じて可動フェンス（H=1.8m）等により工事範

囲の明示と安全の確保を行ってください。

- (11) 本工事場所の進入口及び通路は、施設使用に際し工事期間中も確保する必要があるため、各入口や通路の通行と安全の確保を行ってください。
- (12) 現場着手日及び工事関係車両の駐車場の計画は、あらかじめ施設管理者と協議の上、決定してください。
また、工事用車両は、通学時間帯を避けて出入りしてください。
- (13) 工事期間中であっても、室内換気や空調設備が使用できるように必要な対策を講じてください。
- (14) 夏休み期間中に予定する個人懇談会や登校日等の学校行事では、当日の作業内容について、あらかじめ施設管理者と協議が必要です。
- (15) 受注者は、地域行事の運営等を円滑に行えるよう、地域との調整に努めてください。
- (16) 学校運営等で校舎等の使用状況により、施工方法や内容に変更が生じる場合があります。
- (17) 工事着手後、速やかに外壁劣化数量調査を行い、調査報告書を提出の上、監督員の承諾を得て改修工事に着手してください。
- (18) 実施工程表は、契約後14日以内に提出し承諾を受けてください。また、施工関係書についても速やかに提出し、承諾を受けてください。
- (19) 工事により周囲の建物や工作物に汚損等が生じた場合は、監督員及び施設管理者に報告するとともに、受注者の責任で速やかに復旧してください。
- (20) はつり工事等施設使用に影響を及ぼす作業については、十分な騒音・粉塵対策を講じてください。
- (21) 特定建設資材は再資源化に努め、産業廃棄物は関係法令に従い適切に処理してください。
- (22) 工事施工に必要な官公署への手続は、受注者の責任において速やかに行い、手続を行った場合は、速やかに報告してください。
- (23) 受注者は、地元企業、地場製品の活用に努めてください。
- (24) 受注者は、各種工事の職種を問わず、積極的に「技能士」適用に努めてください。

福山市立大門中学校技術棟校舎外壁改修工事

図 面 リ ス ト	
図面番号	図 名
1	図面リスト
2	外壁改修工事特記仕様書 No.1-1
3	外壁改修工事特記仕様書 No.1-2
4	外壁改修工事特記仕様書 No.2
5	外壁改修工事特記仕様書 No.3
6	仮設工事特記仕様書・付近見取図・配置図
7	1階・2階・R階・PH階・PHR階平面図
8	立面図
9	矩計図・部分詳細図・F工法詳細図

福山市建設局建築部営繕課				発注 2025年 4月	
主務	課員	第3担当次長	課長補佐	営繕課長	建築部長

福山市外壁改修工事特記仕様書

I 工 事 概 要

- | | |
|-------------------------------|--------------------------------|
| 1. 工事名称 | 福山市立大田中学校技術校舎外壁改修工事 |
| 2. 工事場所 | 福山市城興ケ丘 8番1号 |
| 3. 構造規模 | 技術校舎 鉄筋コンクリート造 2階建 (延べ面積 574㎡) |
| 4. 工事項目 | 防水改修、外壁改修、塗装改修 |
| 5. 別途工事 | なし |
| ※ 本工事の工期は工事検査期間としての14日を含んでいる。 | |
| ※ 契約締結後14日以内に実施工程表を提出する。 | |
| ※ 本工事は、法定外の労災保険を見込んでいる。 | |

Ⅱ 建築工事仕様

- [illegible]

①
一
般
共
通
事
項

① 適用基準等

・ 公共住宅建設工事共通仕様書（令和元年度版）
○ 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課編纂（令和４年版）
◎ 建設工事公衆災害防止対策要綱（建設工事編）建設経済局建築業課・住宅局建築指導課監修
◎ 建設工事安全施工技術指針 建設大臣官庁官庁営繕部監督課長連達
◎ 建築基準法、消防法等。その他関係法令

② 監理(主任)技術者

受注者は、監理技術者及び主任技術者を建設業法により定め、工事現場において工事名、工事写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用する。

③ 電気保安技術者
[1.3.3]

・ 適用する ・ 適用しない

④ 技能士
[1.7.2]

工事別	適用 種 別	工事別	適用 種 別

⑤ 施工管理
[1.3.1]
[1.1.5]

受注者は施工管理体制を確立し、品質、工程、安全等の施工管理を行う。
※ 施工体制台帳（建設業法等に従って作成し、写しを提出する。）
※ 施工体系図（建設業法に基づき、当該現場の見やすい場所に提示する。）

⑥ 建築材料等

建築材料の製造所、製品及び施工業者などは、特記されたもの又は同等のものとする。ただしその場合は、監督員の承認を受ける。
また（社）公益建築協会が実施する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」によって所要性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出し、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）「グリーン購入法」により、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。
材料の選定に当たっては、揮発性有機化合物の放出による健康への影響に配慮する。
工事に使用する材料は、アスベストを含有しないものとする。

⑦ 特別な材料の工法

建築標準仕様に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。

⑧ 発生材の処理
[1.3.12]

・ 引運しを棄するもの （ ）
・ 現場において再利用を図るもの （ ）
※ 再資源化を図るもの
・ アスファルトコンクリート ○ コンクリート ・ 木材
・ コンクリート及び数からなる建設資材
上記以外のものはすべて構外に出す。（「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」「建設リサイクル法」という）、「資源の有効な利用の促進に関する法律」「産業物の処理に関する法律」その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い適正に処理する。

※ 建設副産物情報交換システム（COBRIS）（財）日本建設情報総合センター
本工事は登録対象工事であるため、受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の更新の場合は速やかに当該システムにてデータの登録を行うものとする。
また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入（搬出）する場合は、次表より計画書を提出する。なお、これにより難い場合は、監督員と協議する。

	施 工 計 画 時	工 事 完 了 時
搬 入	再 生 資 源 利 用 計 画 書	再 生 資 源 利 用 実 施 書
搬 出	再 生 資 源 利 用 促 進 計 画 書	再 生 資 源 利 用 促 進 実 施 書

※ 本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場へ搬入する建設廃棄物については、県産業廃棄物管理立役が課税される。なお、本工事で広島県産業廃棄物管理立役相当額を含んで

⑨ 工事及び完成写真

分 類	規 格	撮 影 枚 数	提 出 前
着 手 前	サービス料程度（カラー）	必要に応じた数	1
工 中 時	サービス料程度（カラー）	必要に応じた数	1
完 成 時	サービス料程度（カラー）	各 室 4 面	1
	キャビネット程度（カラー）	外 景 4 面	

着手前・工事中写真 ※ A4判印刷、若しくはA4判写真稿
完成時写真 ※ アルバム（A4判程度） ○ 写真帳（検査後14日以内に提出）
原稿の提出 ※ 必ず（※ 完成時のみ ・ 全て） ○ しなし（電子データ形式等は、監督員の指示による。）

⑩ 完成時の提出図書
[1.9.1～3]

速やかに次の図書を提出する。
○ 竣工図 （※ 完成図） ・ 承諾図 ・ 施工図（ ）
○ A3判を2つ折りにして製本 1部

<

④
5
外壁改修工事
仕上塗材仕上げ外壁

①

仕上塗材仕上げ
[4.1.5]
[4.5.2、6]

・薄付け仕上塗材

種 類	仕上の形状	工 法
○ 外装薄塗材 E	○ 砂壁状	○ 吹付け ・ こて
・ 防水形外装薄塗材 E	・ 着色骨材砂壁状	・ ローラー

・厚付け仕上塗材

種 類	仕上の形状	工 法	上 塗 材
・ 外装厚塗材 E	・ 吹付け ・ 凸部処理	吹付け	・ 行う ・ 行わない

・複層仕上塗材

種 類	仕上の形状	工 法	上 塗 材
・ 複層塗材 C E	・ 凸部処理	・ 吹付け	耐候性 ※ 耐候形3種 ・ 耐候形2種
・ 複層塗材 S i	・ 凹凸模様	○ ローラー	溶 媒 ※ 水系 ・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系
○ 複層塗材 E	○ ゆず肌状		樹 脂 ※ アクリル系 ・ シリカ系
・ 複層塗材 R E			・ ポリウレタン系 ・ フッ素系
・ 可とう形複層塗材 C E			・ アクリルシリコン系
・ 防水形複層塗材 C E			外 観 ※ つやあり ・ つやなし
・ 防水形複層塗材 E			・ メタリック
・ 防水形複層塗材 R E			
・ 防水形複層塗材 R S			

・可とう形改修用仕上塗材

種 類	仕上の形状	工 法	上 塗 材（耐候性 耐候形3種）
・ 可とう形改修塗材 E	・ 平坦ん状	ローラー	・ 水系 ・ アクリル系 ※つやあり
・ 可とう形改修塗材 R E	・ さざ波		・ 溶剤系 ・ ポリウレタン系
・ 可とう形改修塗材 C E	・ ゆず肌状	吹付け	・ 弱溶剤系 ・ アクリルシリコン系
			・ フッ素系

②

所要量の確認
[4.5.3]

③

既存塗膜等の除去
及び下地処理
[4.5.4]

④

既存塗膜の劣化部の除去
及び下地の処理の工法

※ サンダー工法 ―― 処理範囲 ・ 既存仕上り面全体 ※ 図示の範囲

・ 高圧水洗工法 ―― 処理範囲 ・ 既存仕上り面全体 ※ 図示の範囲

・ 30MPa以上

・ 50MPa以上

・ 100MPa以上

・ （ ）MPa以上

・ 塗膜はく離削工法 ―― 処理範囲 ・ 既存仕上り面全体 ※ 図示の範囲

○ 水洗い工法 ―― 処理範囲 ※ 上記処理範囲以外の既存仕上り面全体

・ 図示の範囲

下地面の補修 外壁改修フロー及び数量による

下地調整材料 ※ 下地調整塗材 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 防水形仕上塗材主材

4

マスチック塗材塗り
[4.6.2]

マスチック塗材塗り

種別 ・ A種 ・ B種

⑤

屋根及び
びという
工事

①

とい
(13.5.2)

軒どい ・ VPカラー50φ ・ VPカラー75φ ・ VPカラー100φ

たてどい ・ VPカラー50φ ○ VPカラー75φ ・ VPカラー100φ

という受け金物 ※ 亜鉛めっき ○ ステンレス（SUS304）

足 金 物 ※ 溶融亜鉛めっき ○ ステンレス（SUS304）

⑥

塗装改修工事

①

塗料の種類

合成樹脂割合ペイント塗りの塗料の種類 ※ 1種 ・ 2種

耐候性塗料塗り（DP）の上塗り塗料等級 ・ 1級 ・ 2級 ○ 3級

塗料の種類

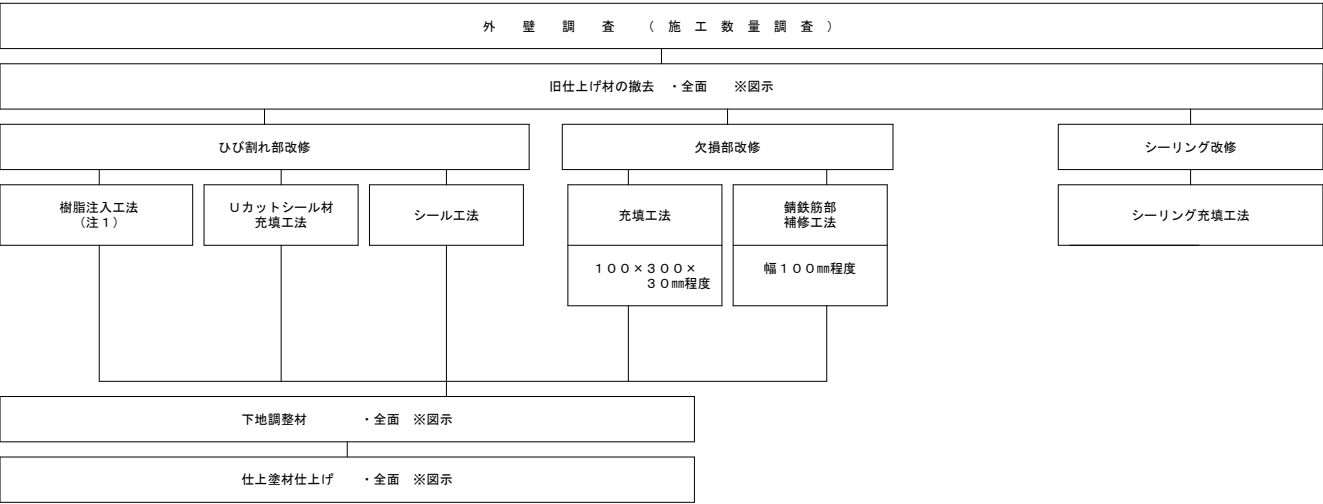
	DP	EP-G
木部	―	表7.9.2
鉄鋼面	表7.8.1	※B種
亜鉛めっき面	表7.8.2	表7.9.4
ボード等（注2）	―	※B種

（注2）：コンクリート、モルタル、プラスタ、せっこうボード、その他ボード面等 [7.9.2]

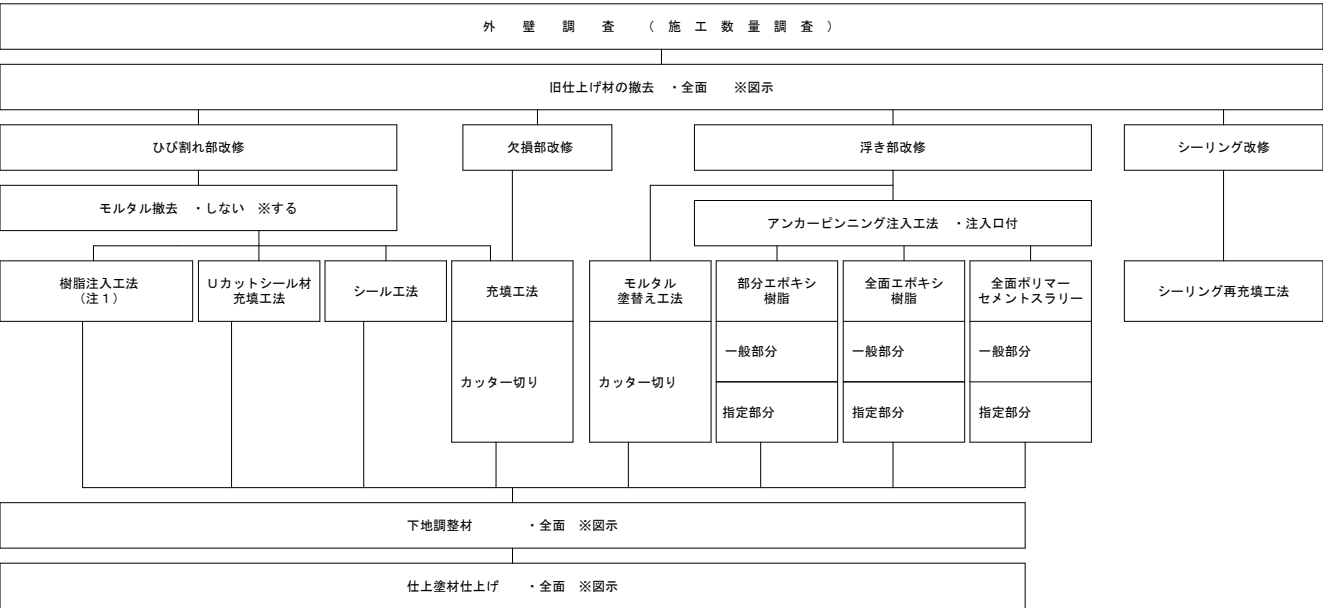
名 称		D 浮き部処理	
記号・仕様		D-6 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 15] D-6' タイル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 13]	
改修前	改修後		
		①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ③ステンレスピン（注入口）挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ④エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑥注入口穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑧エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑩サンダーケレン 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑪水洗い (15Mpa程度) ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※D-6' 工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。 ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む 設計数量：①一般部分： 0.0㎡ ②指定部分： 0.0㎡ ③破幅部： 0.0m	
名 称		D 浮き部処理	
記号・仕様		D-7 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 3. 16] D-7' タイル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 4. 14] ※標準グリッド等は、D-6、D-6'と同じ	
改修前	改修後		
		①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ③ステンレスピン（注入口）挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ④ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [ポリアセティックパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑥注入口穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑧ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し [ポリアセティックパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑩サンダーケレン 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑪水洗い (15Mpa程度) ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※D-7' 工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。 ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む 設計数量：①一般部分： 0.0㎡ ②指定部分： 0.0㎡ ③破幅部： 0.0m	
名 称		E 欠損部処理	
記号・仕様		E-1 打放し面充填工法 [標仕4. 2. 8]	E-2 打放し面欠損部処理 [標仕4. 2. 3]
改修前	改修後		
		①欠損部はつり等での整形 ②水洗い (15Mpa程度) ③欠損はつり部埋戻し [ポリアセティックパテ又はポリアセティックパテ] ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ⑤欠損部はつり等での整形 ⑥錆落とし ⑦水洗い (15Mpa程度) ⑧防錆処理 ⑨欠損はつり部埋戻し [ポリアセティックパテ又はポリアセティックパテ] ⑩セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-1工法を行う場合、②、④の工程はA-1工法に含む ※A-1工法を行う場合、③、⑥の工程はA-1工法に含む 校舎設計数量： 0.0㎡ 渡り廊下設計数量： 0.0㎡	
名 称		F 外壁複合改修工法	
記号・仕様		F 外壁複合改修工法	
改修前	改修後		
		モルタル下地突出部がある場合は撤去し、 水切り目地がある場合は穴埋めをすること。	
工 程		下地補修後 ① プライマー下塗り ② ポリマーペースト中塗り ③ 三軸ネット張り ④ ワッシャー付アンカーピン打ち込み ⑤ ポリマーペースト中塗り ⑥ アルミ水切り取付け (L-30×15×2.0 ステンレスビス止φ450) ⑦ シーリング打設 (MS-2)	
		設計数量	ネット張り 82.6㎡ 水切 54m

外壁改修フロー図

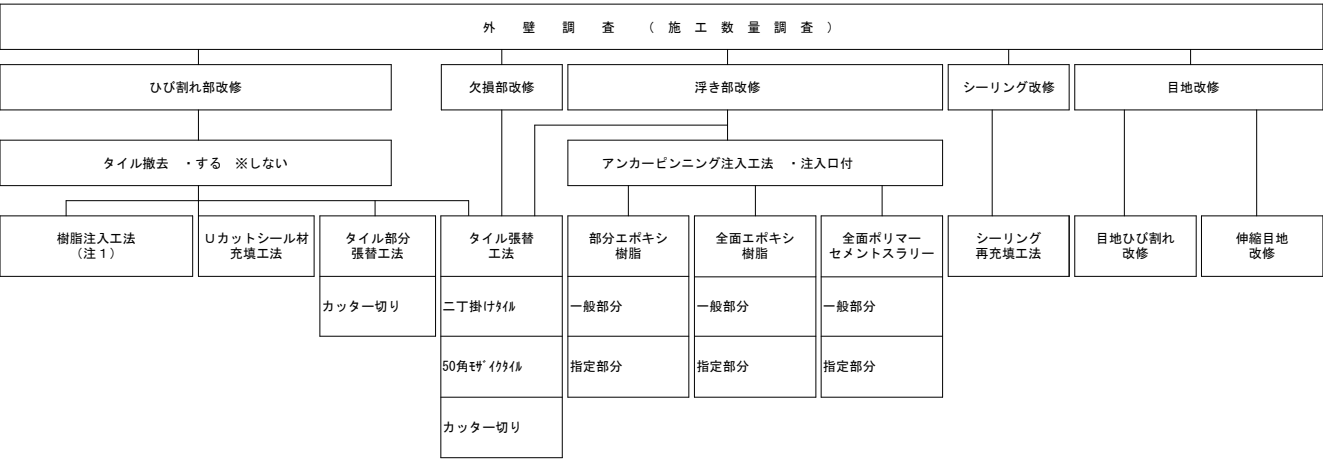
・コンクリート打放し仕上げ外壁の場合



・モルタル塗り仕上げ外壁の場合



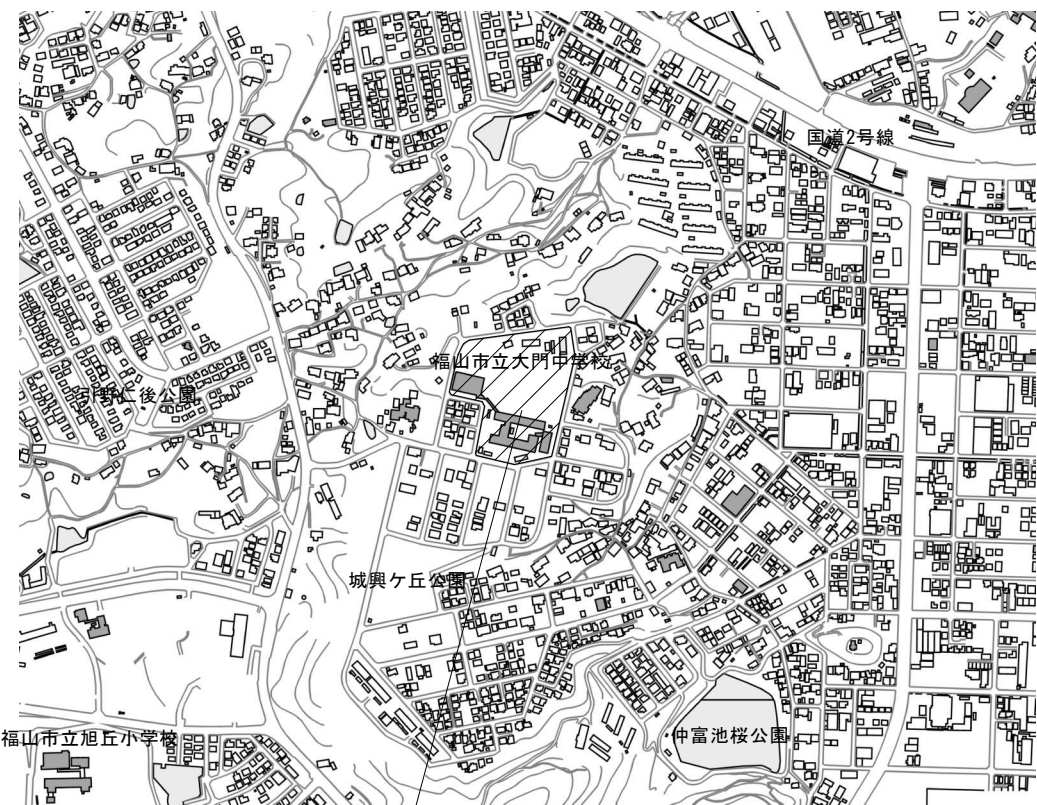
・タイル張り仕上げ外壁の場合



（注1）樹脂注入工法の工法の種類を示す

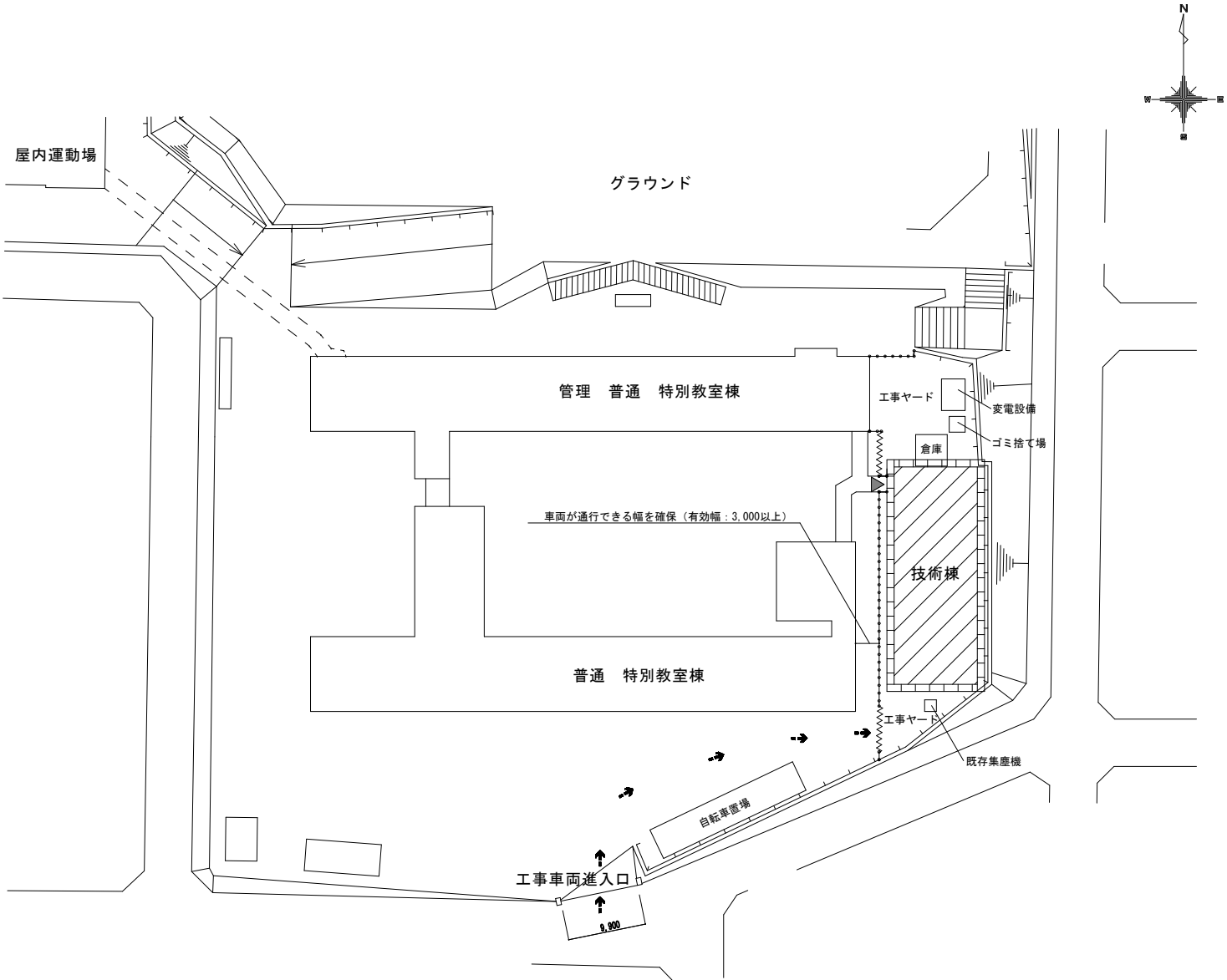
仮設工事特記仕様書

- ① 工事車両出入り口・機器・資材搬入口は南出入口（正門）とする。
- ② 工事車両出入口：キャスターゲート程度とし、通行時のみ開放する。
- ③ 施工者が必要と判断した場合には出入り口前に鉄板・合板パネル等を敷いて養生する。
- ④ 改修建物の周囲にある雨水排水施設を壊さないように注意する。
（既設建物を傷めた場合には復旧する。）
- ⑤ 生徒の移動が集中する時間帯（登下校時等）は重機、資材の搬入を避ける。
- ⑥ 車両通行部は地均し復旧を行う。
- ⑦ 配置図に記載された仮設等については、発注者の考え方を示したものであって、実際の施工に於いては事前に詳細な調査・検討を行い、より安全な施工に努める。
- ⑧ 仮設計画をたてる前に、学校関係者及び監督員と十分協議する。
- ⑨ 仮設計画は監督員の承諾を得る。
- ⑩ 仮設足場（先行足場、階段共）には、養生シートを張り埃等の飛散を防ぐこと。
- ⑪ 生徒及び第三者が、工事エリアに入れないように、仮設足場１段目には金網等を設置し、施錠付きの出入り口を設けること。
- ⑫ 昇降所等の建物出入り口には、落下防止対策を講ずること。
- ⑬ 足場解体後は、現状復旧すること。
- ⑭ エアコンは、使用できるように室外機を養生すること。
- ⑮ 外部の水洗い時及び塗料等の臭気を伴う作業の際は、開口部を十分に目張りすること。



工事場所：
福山市城興ヶ丘8番1号

付近見取図 No. Scale



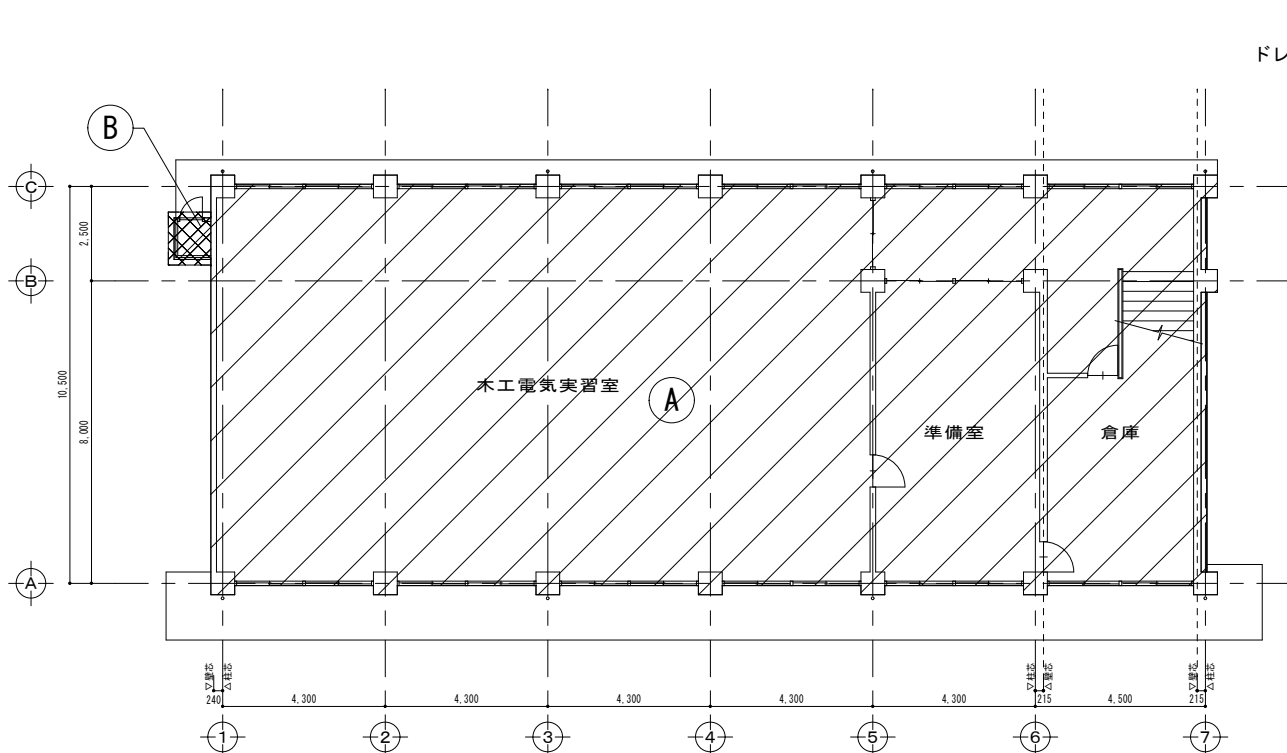
配置図 S=1/400

（参考）仮設工事凡例

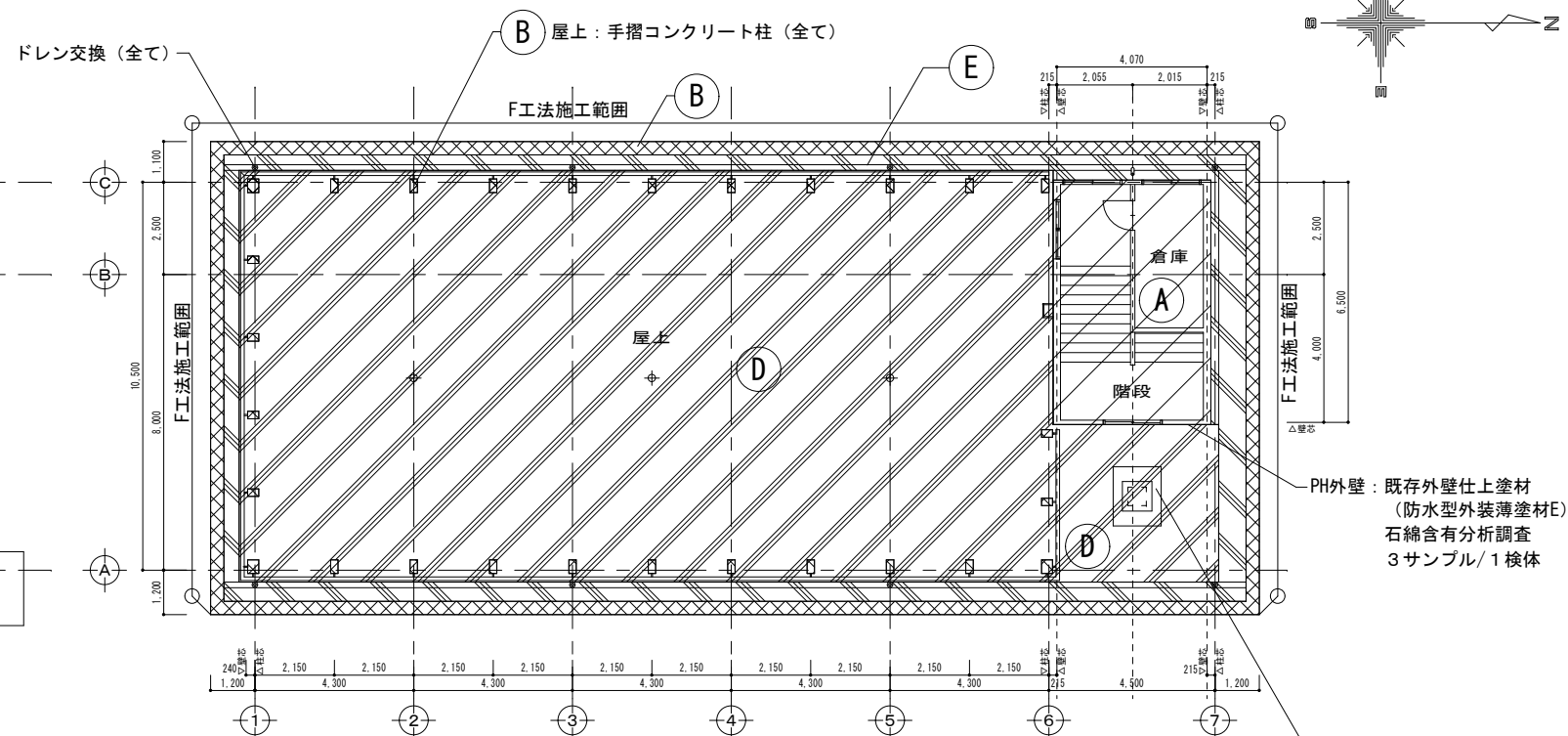
記 号	内 容
	改修建物
	仮囲い：成形鋼板 H=2000
	キャスターゲート W=6000 H=1800
	工事車両進入路
	仮設足場
	生徒出入口（足場部出入口養生）

※現場事務所等は、学校と協議の上決定する。

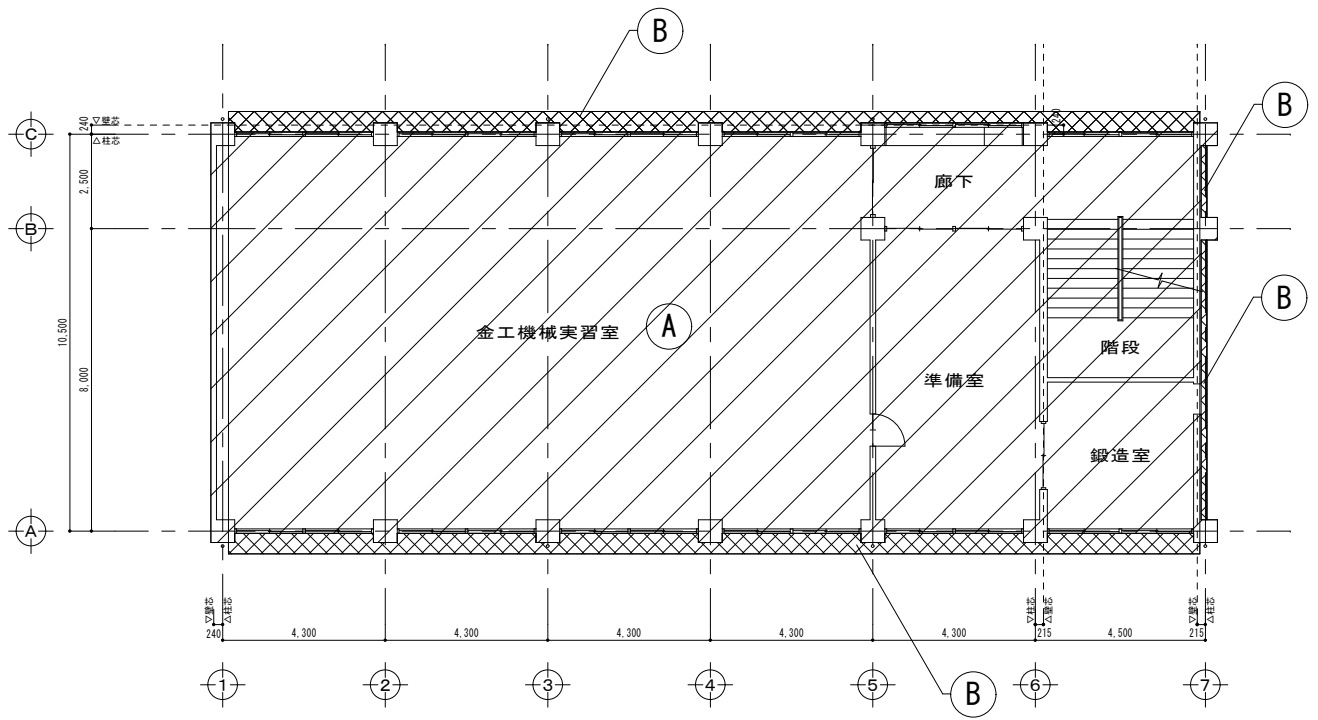
A1：100%
A3：50%



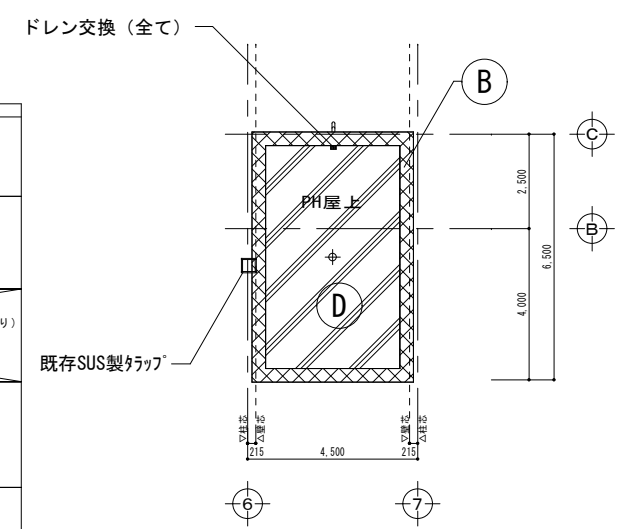
1階平面図 S=1/100



R階・PH階平面図 S=1/100

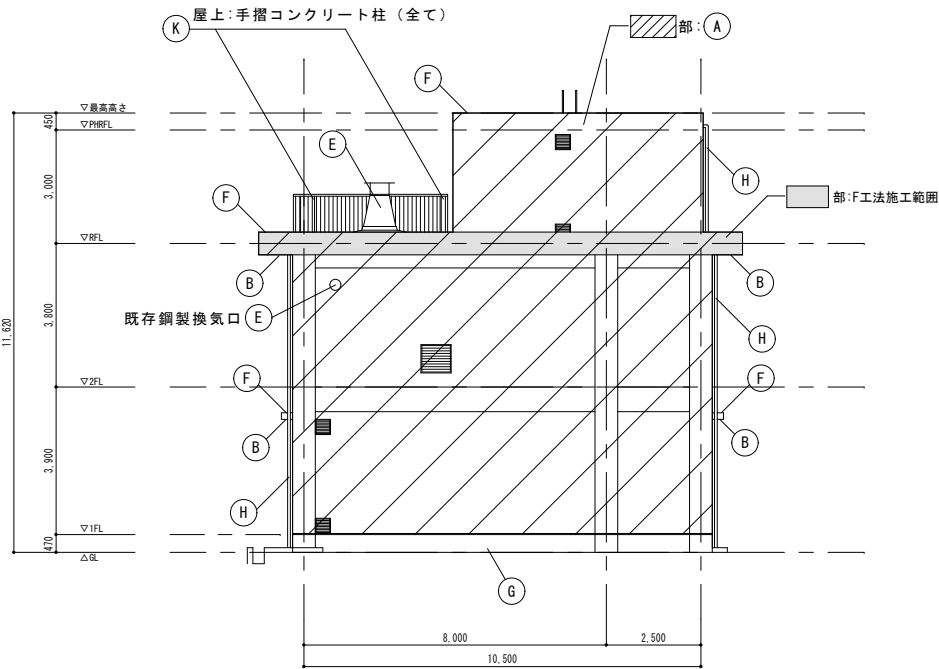


2階平面図 S=1/100

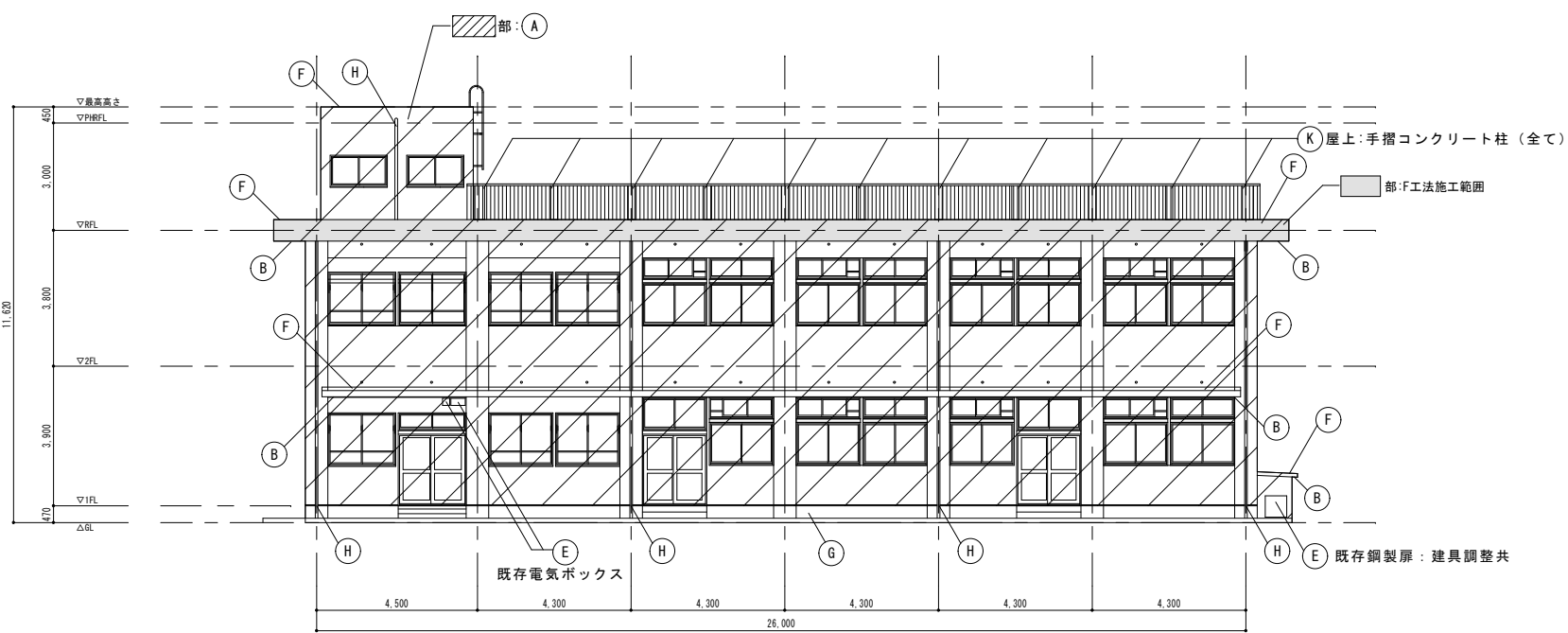


PHR階平面図 S=1/100

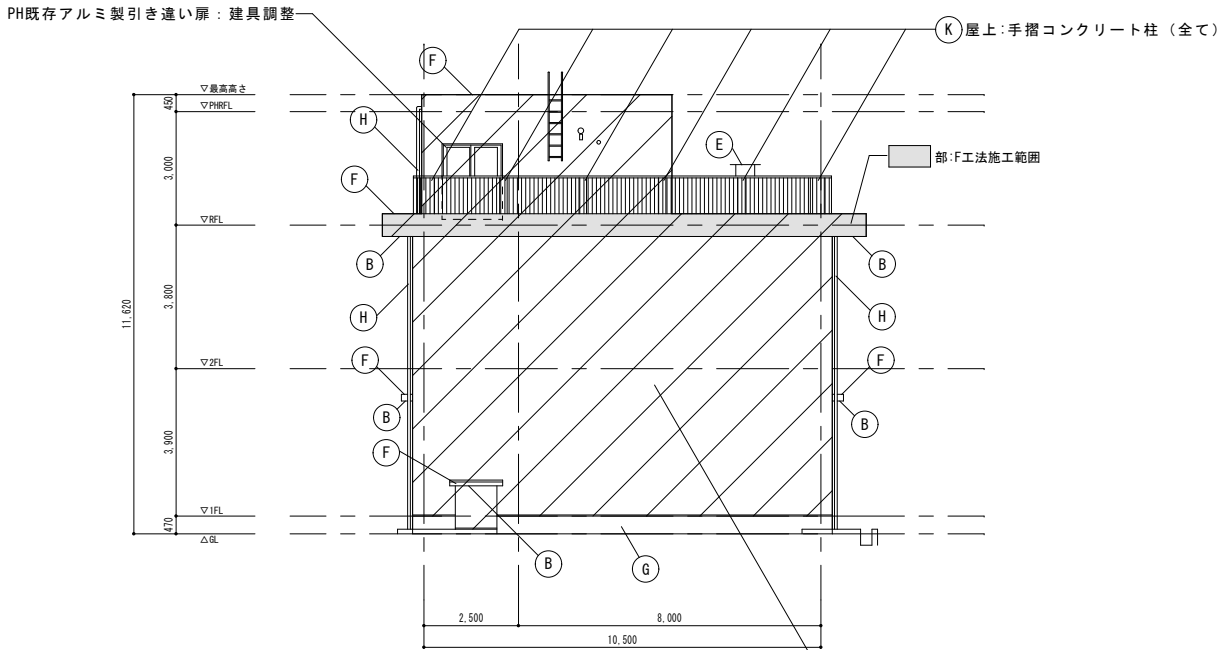
工事符号及び工事内容	
施工範囲	記号
外壁部	A
大庇小庇 パラベット ウレタン塗膜防水 (X-2工法)	B
耐震壁	C
シート防水 (平場)	D
シート防水 (立上り・溝部)	E
脱気筒	
改修内容	
外壁劣化改修の上、複層塗材E塗リ(軒裏等 外装薄塗材E吹付) (庇部、バルコニー部含む) 外部断熱 変成シリコン系シーリング(MS-2)打替 壁種撤去(金具共)の上、壁種取付カラーVP75φ(SUS金具共) 電気ボックス DP塗装	
既存: 防水モルタルコテ押え 改修内容: 水洗い、クラック処理、下地調整(目地埋め含む)の上 ウレタン塗膜防水(X-2工法)	
既存: 耐震CON壁 外装薄塗材E吹付 耐震鉄部 DP塗装 改修内容: 耐震CON壁 下地調整の上、複層塗材E塗リ(トップ2回塗り) 耐震鉄部 下地調整の上、DP塗装(トップ2回塗り)	
既存: シート防水 改修内容: 水洗い、合成高分子ルーフィングシート張り (塩化ビニル樹脂系t=1.5 S-M2機械の固定工法)	
既存: シート防水 改修内容: 水洗い、合成高分子ルーフィングシート張り (塩化ビニル樹脂系t=2.0 S-F2接着工法) 端部防水押え: 笠木部アルミアングル45×65取付(シーリング仕舞) 端部防水押え: 立上り部アルミ押え10×30取付(シーリング仕舞) (既存シート防水部分は撤去)	
脱気筒	
脱気筒: SUS脱気筒取付	



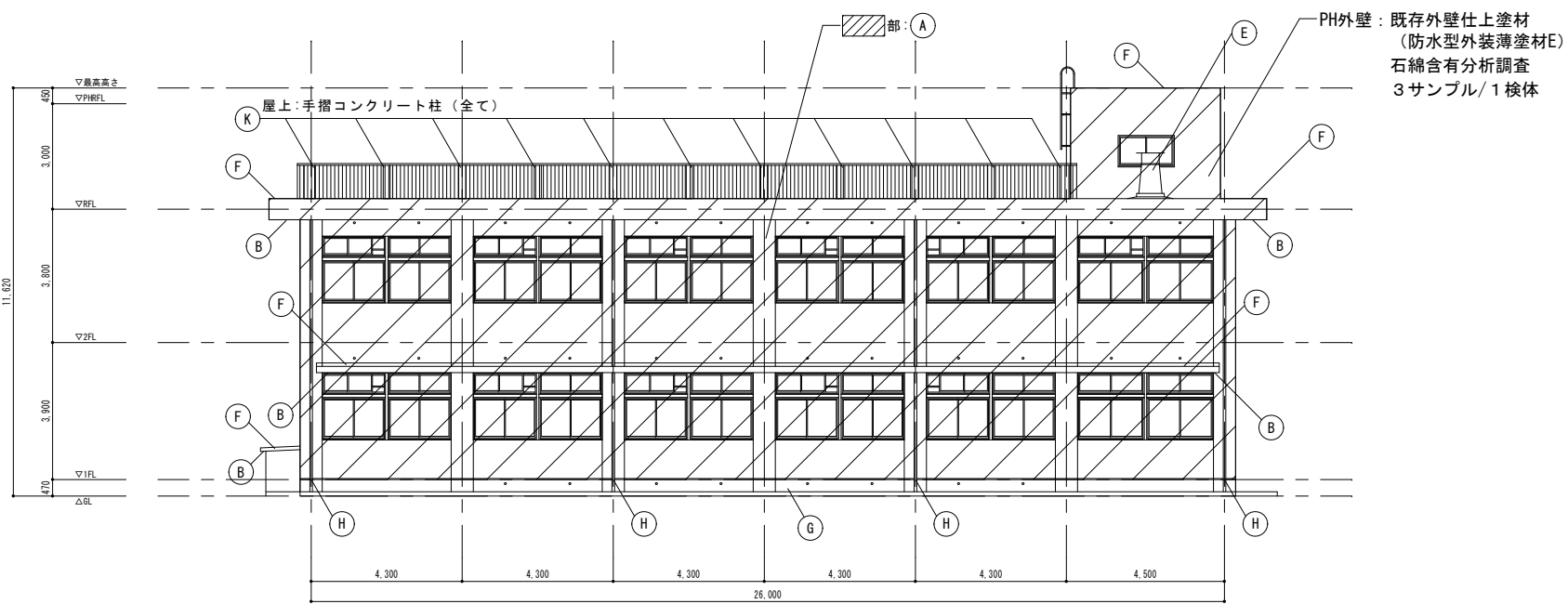
北立面図 S=1/100



西立面図 S=1/100



南立面図 S=1/100

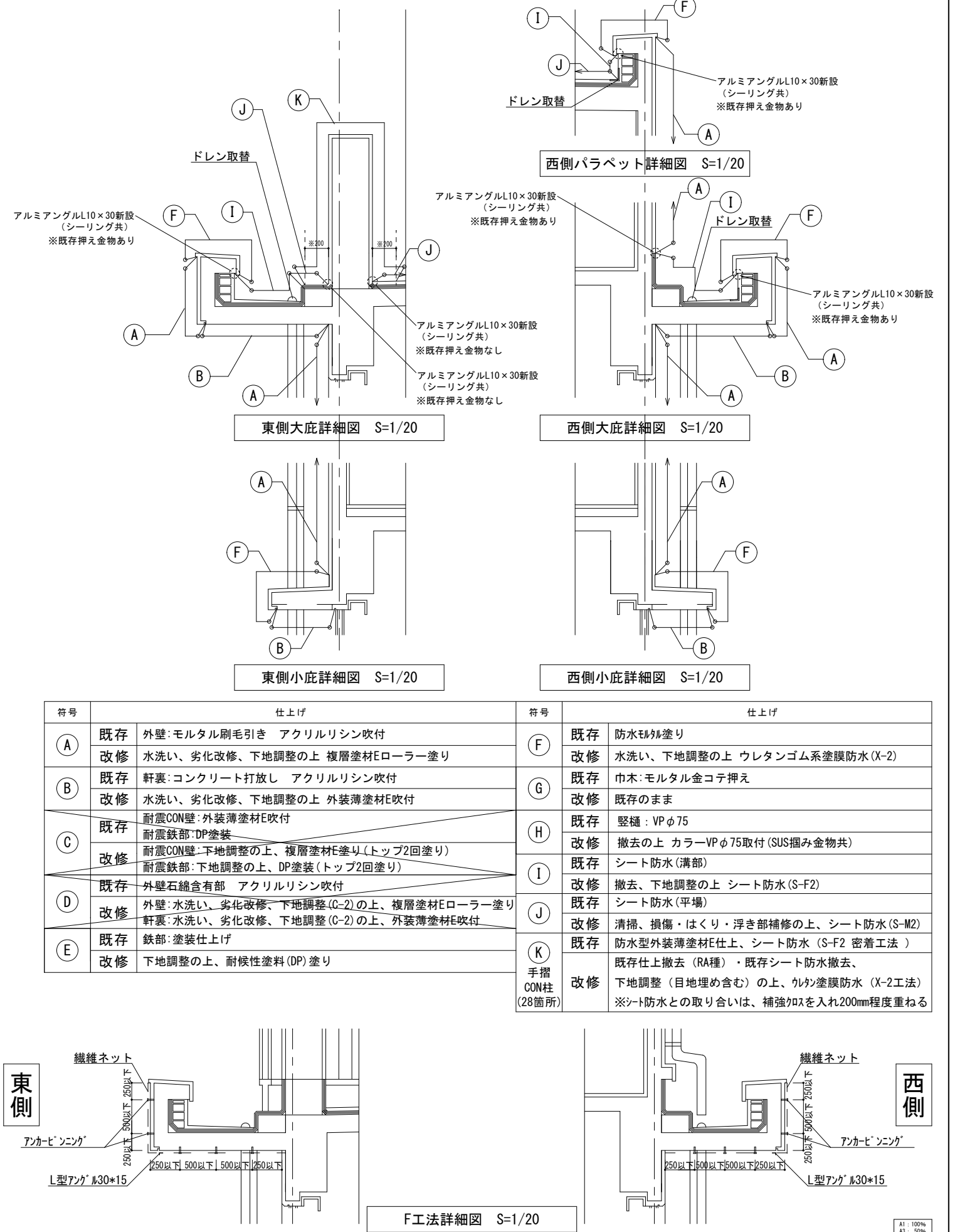


東立面図 S=1/100

符号		仕上げ	符号		仕上げ
A	既存	外壁:モルタル剛毛引き アクリルリシン吹付	F	既存	防水E防水塗
	改修	水洗い、劣化改修、下地調整の上 複層塗材Eローラー塗り		改修	水洗い、下地調整の上 ウレタンゴム系塗膜防水(X-2)
B	既存	軒裏:コンクリート打放し アクリルリシン吹付	G	既存	巾木:モルタル金コテ押え
	改修	水洗い、劣化改修、下地調整の上 外装薄塗材E吹付		改修	既存のまま
C	既存	耐震OON壁:外装薄塗材E吹付	H	既存	壁柱: VPφ75
		耐震鉄部:DP塗装		改修	撤去の上 カラーVPφ75吹付(SUS組み金物共)
	改修	耐震OON壁:下地調整の上、複層塗材E塗り(トップ2回塗り)	I	既存	シート防水(清部)
		耐震鉄部:下地調整の上、DP塗装(トップ2回塗り)		改修	撤去、下地調整の上 シート防水(S-F2)
D	既存	外壁石綿含有部 アクリルリシン吹付	J	既存	シート防水(平場)
	改修	外壁:水洗い、劣化改修、下地調整(C-2)の上、複層塗材Eローラー塗り		改修	清掃、損傷・はくり・浮き部補修の上、シート防水(S-M2)
		軒裏:水洗い、劣化改修、下地調整(C-2)の上、外装薄塗材E吹付	K	既存	防水型外装薄塗材E仕上、シート防水(S-F2 密着工法)
E	既存	鉄部:塗装仕上げ		改修	既存仕上撤去(RA種)・既存シート防水撤去、
	改修	下地調整の上、耐候性塗料(DP)塗り		改修	下地調整(目地埋め含む)の上、UV塗膜防水(X-2工法)
					※シート防水との取り合いは、補強材を入れ20mm程度重ねる

共通事項
外装薄塗材E:水洗い(15MPa程度)、劣化部改修・下地調整(C-1)
複層塗材Eローラー塗り:水洗い(15MPa程度)、劣化部改修・下地調整(C-1)
外部建具:変成シリコン系シーリング(MS-2)打替
電気ボックス・鋼製建具・その他監督員が指示する物:DP塗装
石綿含有分析調査:3サンプル/1検体 ※サンプル採取箇所は別途監督員により指示

A1: 100%
A3: 50%



参考数量書

§ 工事名称 福山市立大門中学校技術棟校舎外壁改修工事

§ 工事場所 福山市城興ヶ丘 8 番 1 号

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款 1 条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

設 計 書

工事名称 福山市立大門中学校技術棟校舎外壁改修工事

工事場所 福山市城興ヶ丘 8 番 1 号

防水改修、外壁改修、塗装改修

対象建物 技術棟校舎
鉄筋コンクリート造 2階建
延べ面積 574㎡

名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

福 山 市

技術棟校舎					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
仮設工事	直接仮設	1	式		
計					
外壁改修工事	外壁劣化改修工事	1	式		
外壁改修工事	塗装改修工事	1	式		
外壁改修工事	防水改修工事	1	式		
外壁改修工事	樋改修工事	1	式		
外壁改修工事	その他工事	1	式		
計					
発生材処分	発生材運搬費	1	式		
発生材処分	発生材処理費	1	式		
計					

技術棟校舎		仮設工事		直接仮設		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
養生(外壁改修)		223	m ²			
開口養生	割り増し	166	m ²			
整理清掃後片付け (外壁改修)		223	m ²			
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	434	m ²			
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	434	m ²			
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	W600 掛払い手間,運搬費,維持管理費共 10m未満 120日	111	m ²			
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	W900 掛払い手間,運搬費,維持管理費共 10m未満 120日	737	m ²			
くさび緊結式足場	120日 底部 プラケット 掛払い手間,運搬費,維持管理費共	163	m			
くさび緊結式足場	120日 屋上底部 プラケット 掛払い手間,運搬費,維持管理費共	56.4	m			
安全手すり (手すり先行方式)	くさび緊結式足場用 掛払い手間,運搬費,維持管理費共 120日	103	m			
養生シート張り	防災Ⅰ類 掛払い手間,運搬費,維持管理費共 120日	737	m ²			
金網式養生柵	掛払い手間,運搬費,維持管理費共 120日	157	m ²			
出入口安全対策	コンパネ貼り養生(3方) W3600×H3600程度	1	か所			
計						

技術棟校舎		外壁改修工事		外壁劣化改修工事		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	687	m ²			
A-2 モルタル面表面劣化処理		29.6	m ²			
B-6 モルタル面カットシーリング材 注入工法	1.0mm以上 挙動 有り	39.3	m			
C-2 クラック部モルタル面 セメント鉄筋処理		32.6	m			
D-1 モルタル面はつり	0.25m ² 以上	2.1	m ²			
D-2 モルタル面アンカービ ンニング 部分注入エポ キシ樹脂	0.25m ² 以下 一般部(16カ所/m ²)	42.8	m ²			
D-2 モルタル面アンカービ ンニング 部分注入エポ キシ樹脂	0.25m ² 以下 指定部(25カ所/m ²)	8.7	m ²			
D-2 モルタル面アンカービ ンニング 部分注入エポ キシ樹脂	0.25m ² 以下 狭幅部(5カ所/m)	31.1	m			
E-3 モルタル面欠損部処理	樹脂モルタル	2.7	m ²			
F 外壁複合改修	ビニールネット工法	82.6	m ²			
アルミ水切り取付 (材工共)	アルミ製 L-30×15×2.0 ステンレスビス@450含む	54	m			
計						

[illegible]

技術棟校舎		外壁改修工事		防水改修工事		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
水洗浄	防水改修 水洗い 加圧力15MPa程度(150~200kg/cm ²)	519	m ²			
改修用ルーフレン (ドーム型)	75φ 縦型 材工共	8	か所			
改修用ルーフレン	75φ 横型 材工共	1	か所			
ケレン・清掃	防水面 ケレン・清掃	202	m ²			
下地調整 改修仕様 (塗膜防水)	下地処理・クラック処理	150	m ²			
既存塗膜除去	コンクリート・モルタル面 工程RA種	33.8	m ²			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 平面	2.1	m ²			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 立上 小庇・狭陰部含む	146	m ²			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 笠木・手摺天端	9.3	m			
端部金物撤去		1	式			
既存防水層撤去	屋上防水層 シート防水層 集積共	94.8	m ²			
下地調整 改修仕様 (シート防水)	ポ リマーセメントペ ースト	85.3	m ²			
合成高分子系ルーフィ ングシート防水 (S-F2)	接着工法(S-F2) t2.0 材工共	85.3	m ²			
合成高分子系ルーフィ ングシート防水 (S-M2)	機械的固定工法(S-M2) t1.5 材工共	284	m ²			
防水押えアルミアングル (材工共)	L-10*30*1.5 ジョイント,ビス含む シーリング 共	152	m			
SUS脱気筒	材工共	4	か所			
シーリング 撤去	集積共	386	m			
シーリング	変成シリコン(2成分形)MS-2 15×10 建具周囲	386	m			
計						

福 山 市

福 山 市

福 山 市

[illegible]